

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [労働組合](#) | [組織活動](#) | [自由にして民主的な労働運動誕生の話 \(一\)](#)
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[組織活動](#)[組織運営と法律](#)[労働安全衛生](#)[経営対策活動](#)[教育・宣伝活動](#)[労働時間をめぐる諸問題](#)[教育活動](#)[選挙活動](#)[組合組織（公務員）](#)[教育カリキュラム](#)[▶ キーワード検索はこちら](#)

自由にして民主的な労働運動誕生の話 (一)

社会主義とは、本来「人間尊重、ヒューマニズムを基盤に、人間の幸福を創造していく」という思想である。社会主義者は人間を幸福にすることを理念として活動してきたが、二つの大戦（第一次世界大戦、第二次世界大戦）を経て、どうして人間が殺し合い、抑圧・弾圧、虐殺するという不幸が起こったのだろうか。世界の社会主義者は自らの活動への批判と反省を行い、二度とこのような不幸な出来事が起こらないようにするにはどうしたら良いか。1951年6月、当時の西ドイツ（フランクフルト・アム・マイン）に集し、討議を重ね、そのなかで、これまでの社会主義と違う、本来の社会主義として再出発しようと合意した。したがって、1864年、英国（ロンドン）で結成され、1876年に解散した「第一インター（国際労働者協会）」、1889年、フランス革命100周年を記念し開催された各国社会党会議での第一インターの再建合意による「第二インター（国際社会主義者会議）」の国際社会主義運動の伝統を引き継ぎ意図を示すこととし、「社会主義インターナショナル」と呼称した。そして、フランクフルト宣言（民主社会主義の目的と任務）として、これを綱領として採択した。

フランクフルト宣言（1951年7月2日採択）

社会主義インターナショナルの綱領で、加盟各国の社会主義政党が準拠すべき「民主社会主義」の基本理念を示している。内容は、資本主義がもたらした無産階級の貧困、失業、人間疎外の克服を目指して、社会保障、完全雇用、生活水準の向上と経済成長、所得と財産の平等化、経済の民主化などを目標とする社会主義計画化を主張し、そして、国家権力の専制・独裁化から個人としての人間の自由を守るため、政治的民主主義の諸原理をあくまで擁護すべきことが強調されている。また、この宣言による4つの民主主義（政治的民主主義、経済的民主主義、社会的民主主義、国際的民主主義）の基本理念は、その後の民主的労働運動の基本理念ともなっている。この宣言のなかで「自由なくして社会主義はありえない。社会主義は民主主義を通じてのみ達成することができる。また、民主主義は社会主義を通じてのみ実現できる」として、「自由・社会主義・民主主義」の一体化（三位一体）を説いた。それでは、民主的労働運動の社会思想である「フランクフルト宣言」を紹介する。

注）社会主義インターには、日本からは当時の社会党及び民社党が加盟していた。

[「フランクフルト宣言」前文へ](#)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録
お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

